

次期学習指導要領対応授業力向上研修

授業実践前サポート研修③



研修課として取組む カリキュラム・マネジメント

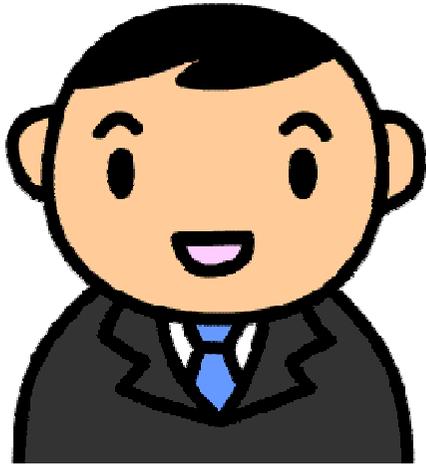


静岡県総合教育センター
専門支援部 特別支援課

授業実践後サポート研修③

- 1 特別支援学校における
カリキュラム・マネジメント ……10分
- 2 研修推進のPDCAと研修の改善
……………40分
- 3 自校の課題を考える ……20分

カリキュラム・マネジメントとは？

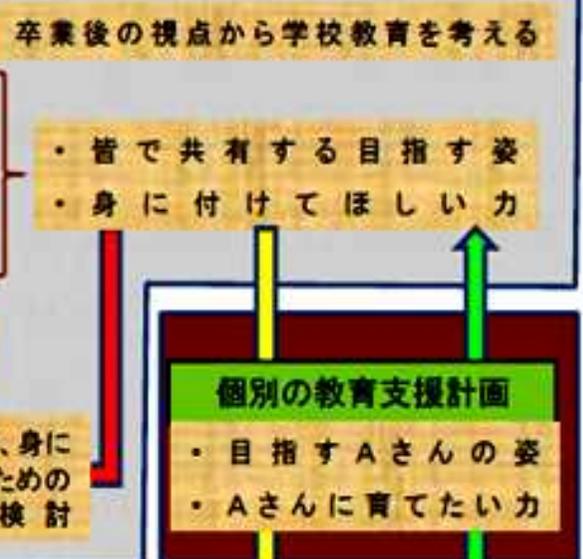


カリキュラムの
全体像を確認
してみましよう

教育課程の総体的構造の可視化 (例)

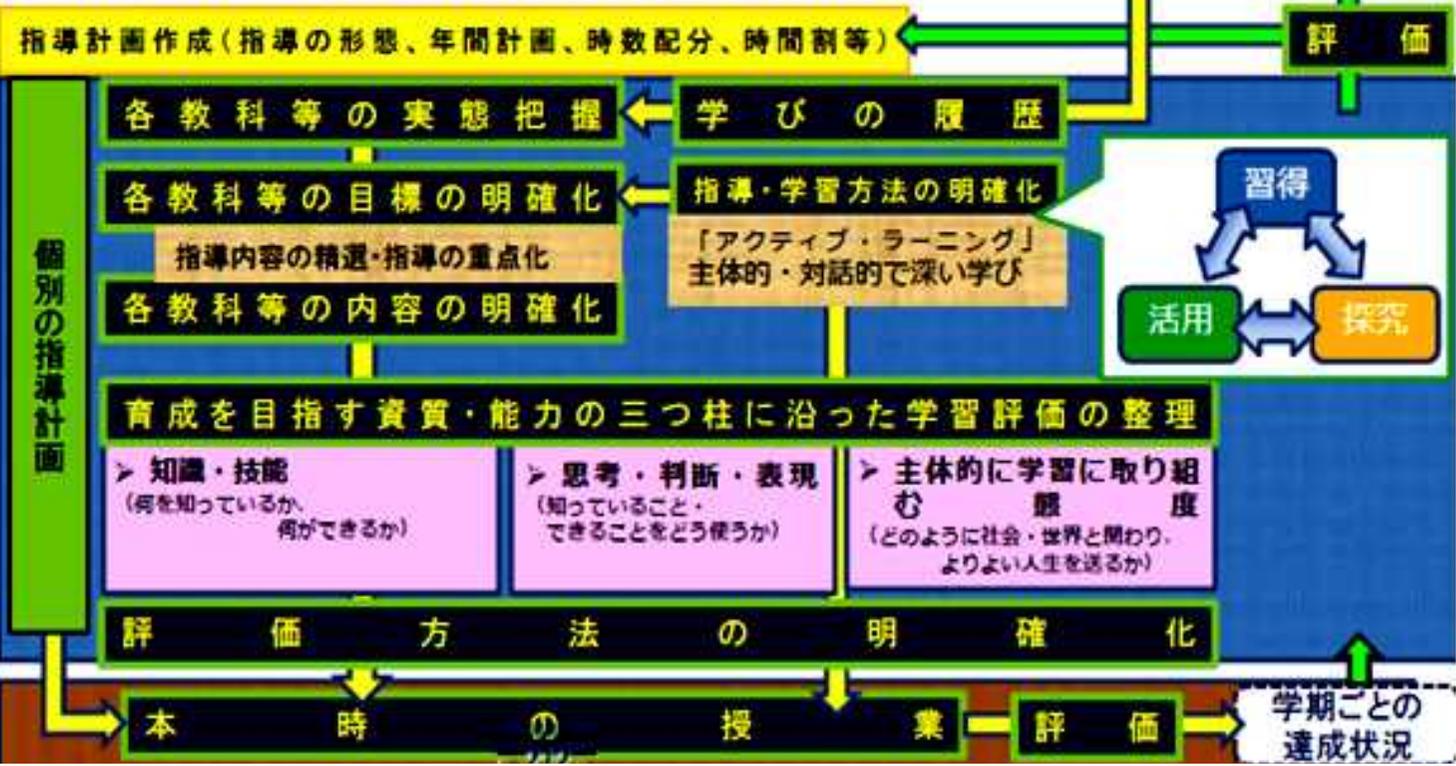
学習指導要領から教育内容を明確にする段階

- ◆「カリキュラム・マネジメント」
- ◆「社会に関かれた教育課程」
- ◆育成を目指す資質・能力
- ◆教育課程の円滑な接続



指導計画を作成する段階

- ◆学びの連続性
- ◆「アクティブ・ラーニング」の視点



学習指導要領から教育内容を明確にする段階

◆カリキュラム
・マネジメント

◆社会に開かれた
教育課程

◆育成を目指す
資質・能力

◆教育課程の
円滑な接続

教育課程の総体的構造の可視化(例)

学校 教育目標

目指す 児童生徒像

卒業までに身につけてほしい力

各学部 教育目標

各学部 教育課程編成

各教科	道徳	外国語	総合的な	特別活	自立活動
-----	----	-----	------	-----	------

- ◇指導内容の選択
- ◇指導内容を組織
- ◇授業時数を配当

卒業後の視点から
学校教育を考える

- ・皆で共有するめざす姿
- ・身につけてほしい力

個別の教育支援計画

- ・めざすAさんの姿
- ・Aさんに育てたい力

学習指導要領に基づき、
身につけてほしい力を育
むための

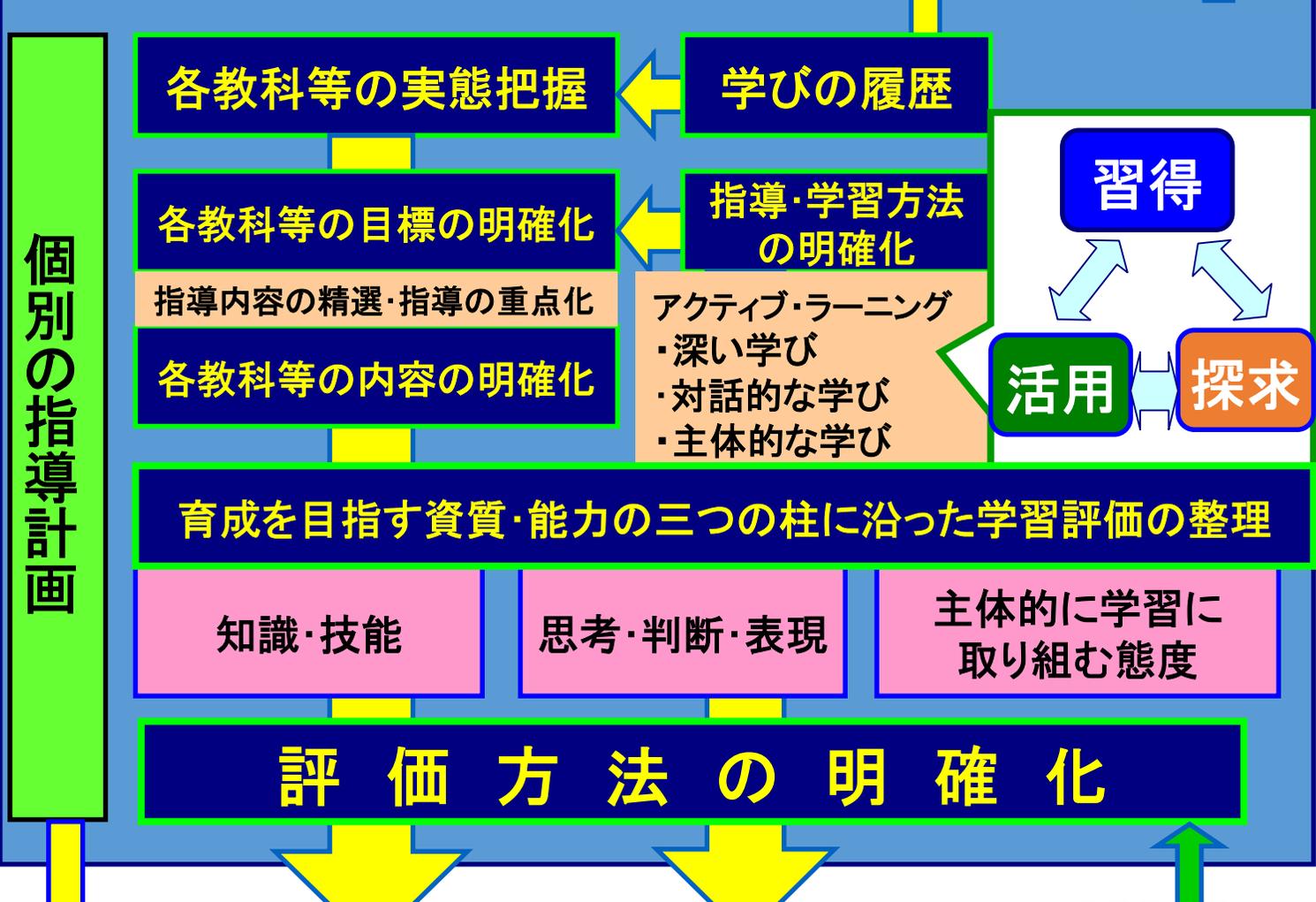
指導内容等の検討

評価

個別の教育支援計画

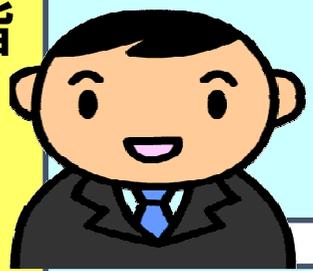
指導計画作成 (指導の形態、年間計画、時数配分、時間割等)

評価

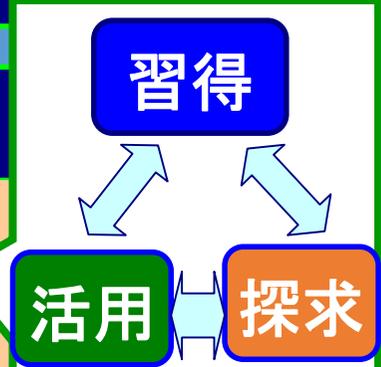


指導計画を作成する段階

◆ 学びの連続性



◆ アクティブ・ラーニング



各教科等の実態把握 ← 学びの履歴

各教科等の目標の明確化 ← 指導・学習方法の明確化

指導内容の精選・指導の重点化

各教科等の内容の明確化

アクティブ・ラーニング
・深い学び
・対話的な学び
・主体的な学び

育成を目指す資質・能力の三つの柱に沿った学習評価の整理

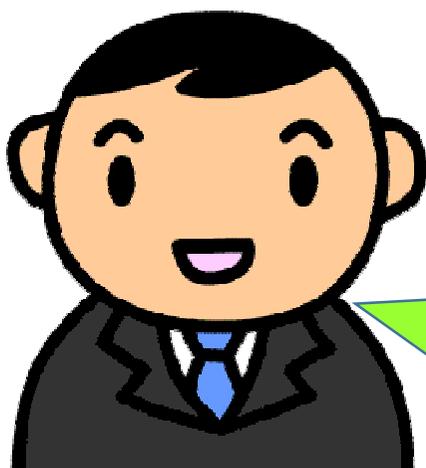
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

評価方法の明確化

本時の授業 → 評価 → 学期ごとの達成状況

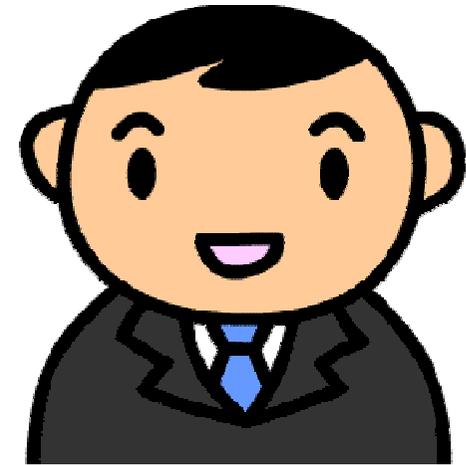
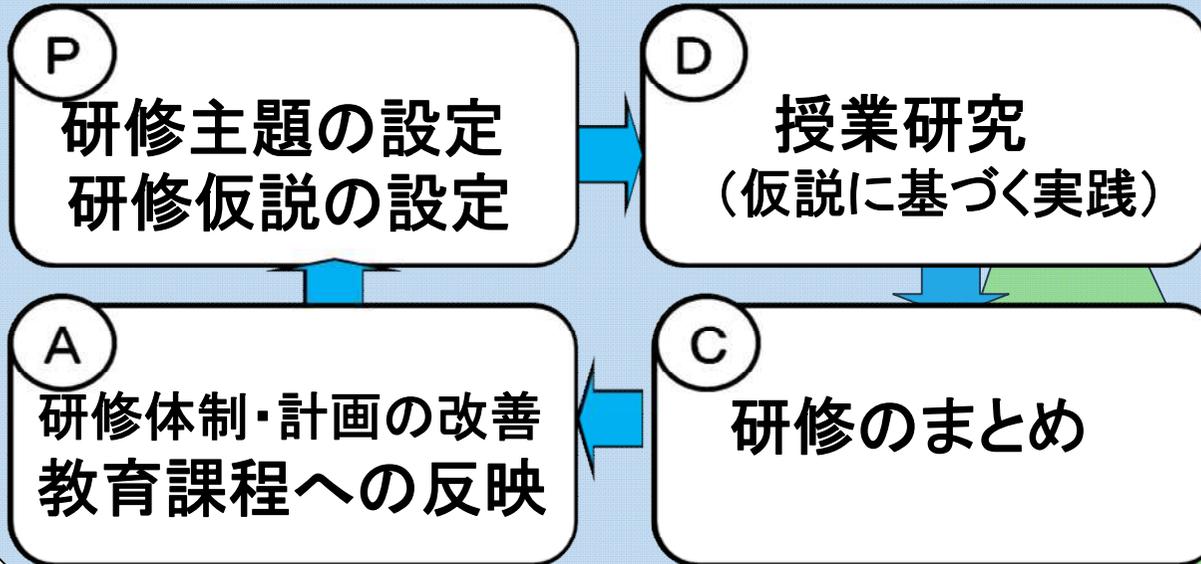
研修課にとっての カリキュラム・マネジメントは

研修の推進

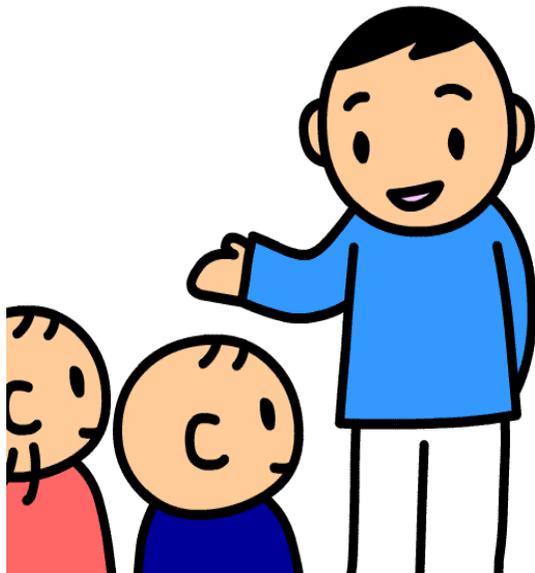
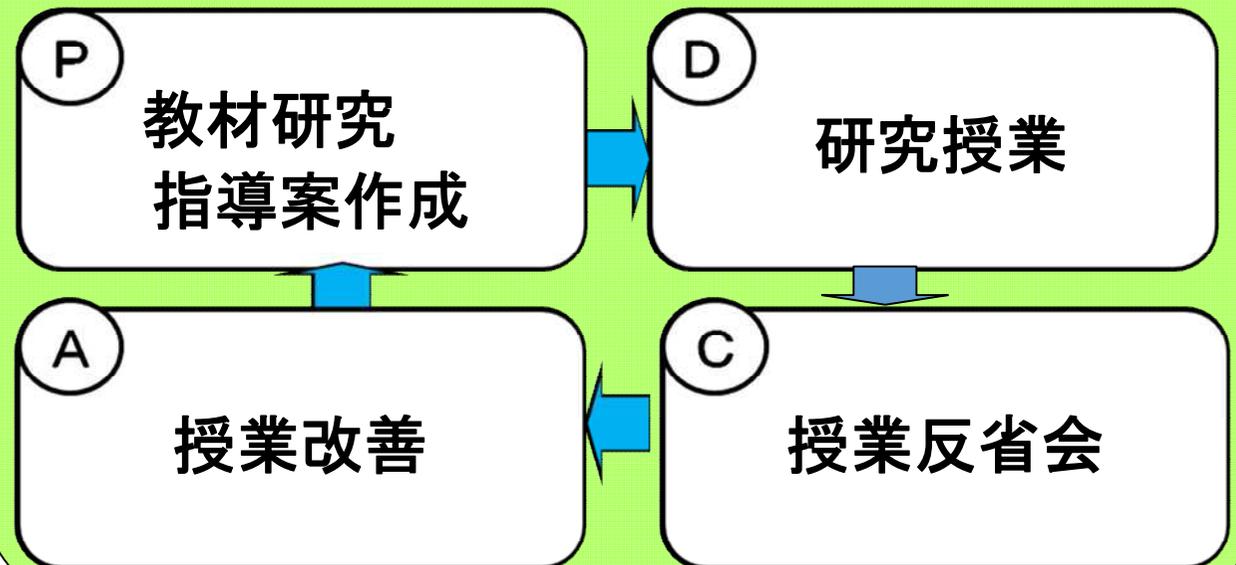


研修のPDCAを
確認しましょう!!

【研修のPDCA】



【授業のPDCA】



学校名 _____



1 学校の教育目標は何だったでしょうか？

2 目指す児童生徒像は、どんな姿でしょうか？

3 今年度の研修課の目標（テーマ）

4 研修を授業改善につなげるためのPDCA サイクル(例)

自己チェックしてみましょう

<4月・5月>

4あてはまる-3:やあてはまる-2あまりあてはまらない-1あてはまらない

a 研究主題（テーマ）について

① 研究主題は、学校教育目標の達成に関連の深いものになっている 4-3-2-1

② 研究主題を教職員に理解させる方法を工夫している 4-3-2-1
 職員会議で説明 研修課が各学部会で説明 研究主題に関する研修会実施
 研修課だより等の配布 指導案の授業前検討会
 その他（ ）

Q: 教職員が研究主題を意識して意欲的に研修に取り組むために、研修主任としてどんなことができますか？

研究主題を意識して意欲的に研修に取り組むために

b 研究計画について

研究計画を進めるうえでの工夫

③ 仮説を検証する方法が、教職員に理解されている 4-3-2-1

④ 研究計画を進める上で工夫している点（または今後、工夫したい点）
 研究の全体計画を作成 各学部会で説明 研修会実施
 先行研究等の引用・共有 仮説の検証を理解させる工夫
 外部講師との連携 その他（ ）

<6月以降>

c 授業研究について

⑤ 研究主題に照らし、授業の工夫改善点等が示される学習指導案を作成・活用する 4-3-2-1

⑥ 授業参観者が授業内容等を評価する「評価シート」等を使用する 4-3-2-1

⑦ 研究授業を参観する方法として工夫したい点
 ビデオ・写真や映像を利用 授業参観できる体制づくり
 授業参観のポイントを示した「授業参観シート」等の活用 その他（ ）

Q: 授業研究を教職員の授業改善につなげるために、研修主任としてどんなことができますか？

授業研究を授業改善につなげるために



D

d 研究協議について（研究協議会、校内研修会等）

⑧ 研究協議（研究協議会、校内研修会等）で、研究授業の改善策を検討する場を設定する 4-3-2-1

⑨ 研究協議（研究協議会、校内研修会等）の参加体制及び研究協議を活性化させるために工夫したい点
 協議の柱を設定 協議グループの工夫 外部の指導助言者
 パネルディスカッション等の討議方法を工夫
 KJ法、ブレインストーミング等の手法を活用
 ビデオ等による授業の振り返り その他（ ）

研究協議を活性化させるために

e 授業改善について

協議内容を授業改善に生かすために

⑩ 研究協議（研究協議会、校内研修会等）の内容をその後の取組（授業等）に生かす具体的な案がある 4-3-2-1

⑪ 研究協議（研究協議会、校内研修会等）で協議する内容を授業改善に生かすために工夫したい点
 研修課だより等の配布物で報告 協議のまとめを職員会議、研修会で共有
 授業改善（評価）シート等の活用 学部会等で授業改善を検討
 授業づくりのポイントを作成し蓄積 その他（ ）

f 研修の改善について

来年度の研修の改善につなげるために

A

⑫ 研修の取組のPDCA サイクル（計画・実施・評価・改善）を意識し、研修の改善につなげるための方法を考えている 4-3-2-1

e 授業改善について **協議内容を授業改善に生かすために工夫したい点は？**

C

⑩研究協議（研究協議会、校内研修会等）の内容をその後の取組（授業等）に生かす具体的な案がある 4-3-2-1

⑪研究協議（研究協議会、校内研修会等）で協議する内容を授業改善に生かすために工夫したい点

研修課だより等の配布物で報告 協議のまとめを職員会議、研修会で共有

授業改善（評価）シート等の活用 学部会等で授業改善を検討

授業づくりのポイントを作成し蓄積 その他（ ）

f 研修の改善について **来年度の研修の改善につなげるための方法は？**

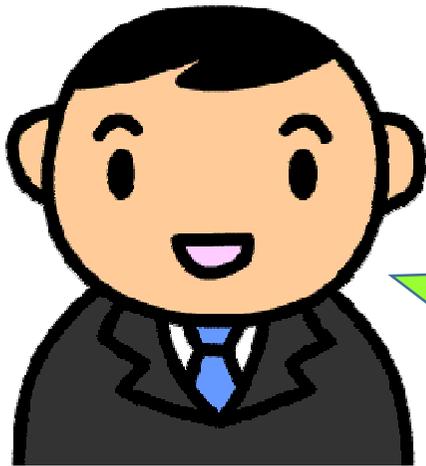
A

⑫研修の取組の PDCA サイクル（計画・実施・評価・改善）を意識し、研修の改善につなげるための方法を考えている 4-3-2-1

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善をさらに進めるためには？

「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

Action : f 研修の改善について



【Action】

「f 研修の改善」について
考えてみましょう!!

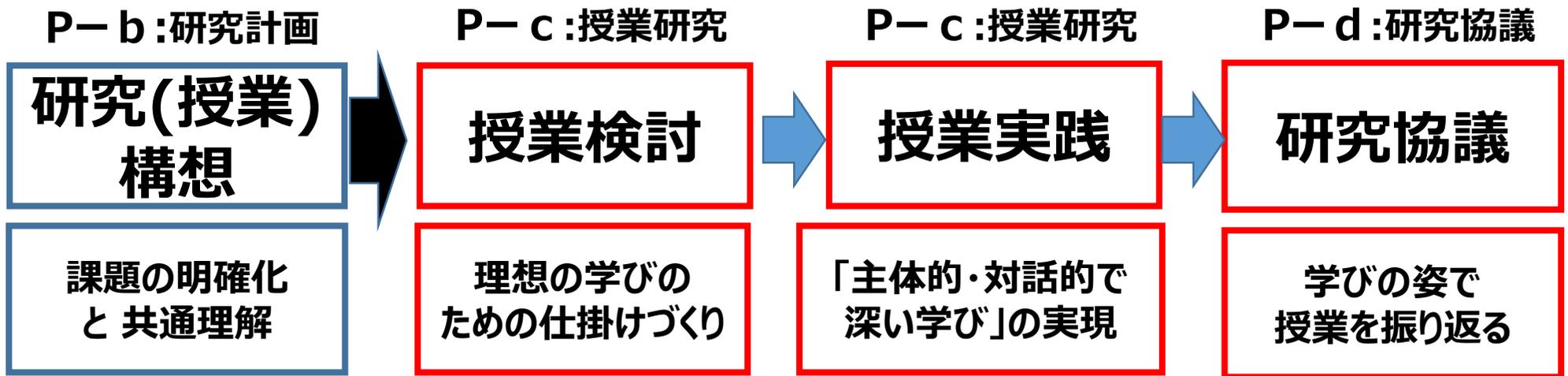
**「主体的・対話的で深い学び」の視点からの
授業改善をさらに進めるためには？**

「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

Action : f 研修の改善について

効果的に授業を改善するために

【P:研究計画】



「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

効果的に授業改善を進めるために



授業改善のための方略	<p>ポイント①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習グループで育成を目指す資質能力を共有 ・児童生徒の実態、地域の変化を踏まえ、授業改善のための具体化を図る 	<p>ポイント②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該単元で育成したい資質能力を明確にする ・学びの質の深まりに焦点を当て、授業を設計する 	<p>ポイント③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が目的や必要性を意識して取り組める学習課題を設定 ・単元や授業で何が見についたか自己評価を行う ・思考を促す「考える材料」「対話」の工夫を行う 	<p>ポイント④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業チェックシート等の記録を参考に、教師の手立てを分析する ・ワークショップ型研修で全員が参加し意見を出し、当事者意識を持って取り組めるようにする
	<p>【具体的方略】</p> <p>例) センターで提案している授業づくりの4つの視点の設定</p> <p>例) 研修課で提案する仮説、方法の設定</p> <p>例) 授業チェックシートの作成活用</p>	<p>【具体的方略①】</p> <p>例) センターで提案している授業設計シートの活用</p> <p>例) 学校で作成した単元カード、指導カード等</p>	<p>【具体的方略②】</p>	<p>【具体的方略③】</p>

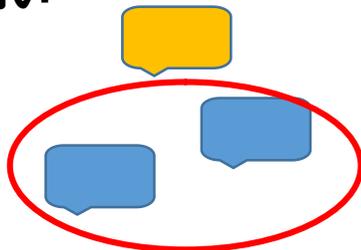
「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

効果的に授業改善を進めるために

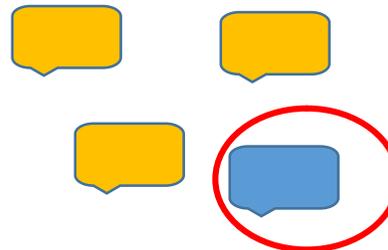
授業改善のための方略について考える

例

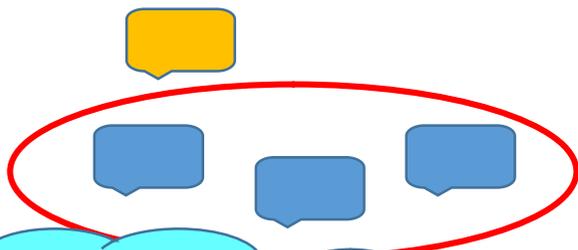
① 解決したい
課題や問い



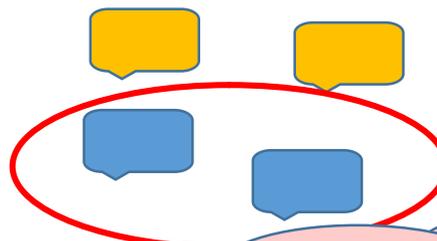
② 考えるための材料



③ 対話と思考



④ 学習の成果



授業分析が点で
捉えられがち

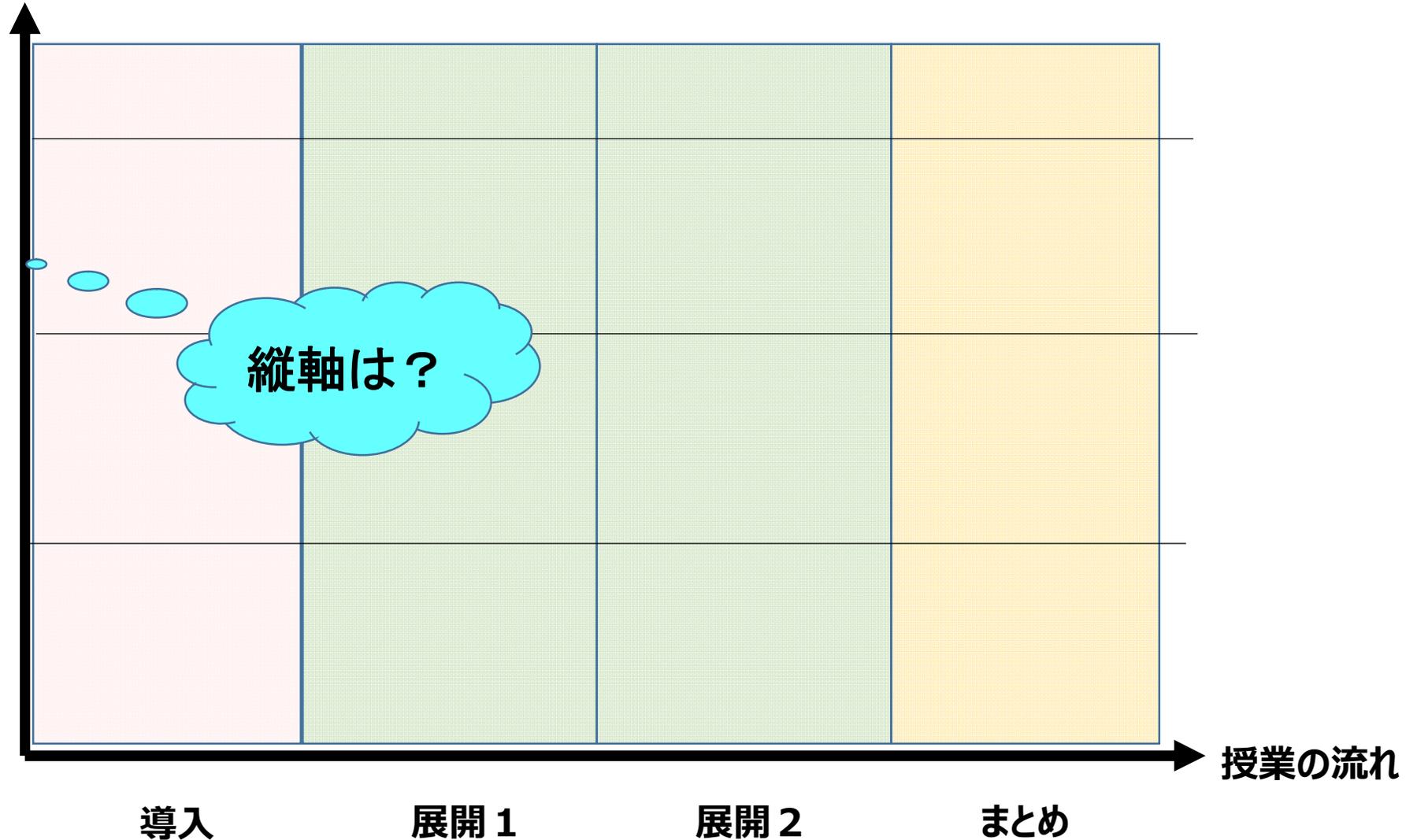
授業の改善点を整理

子どもの学びの過程
を捉える方法は？

「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

効果的に授業改善を進めるために

授業改善のための方略について考える

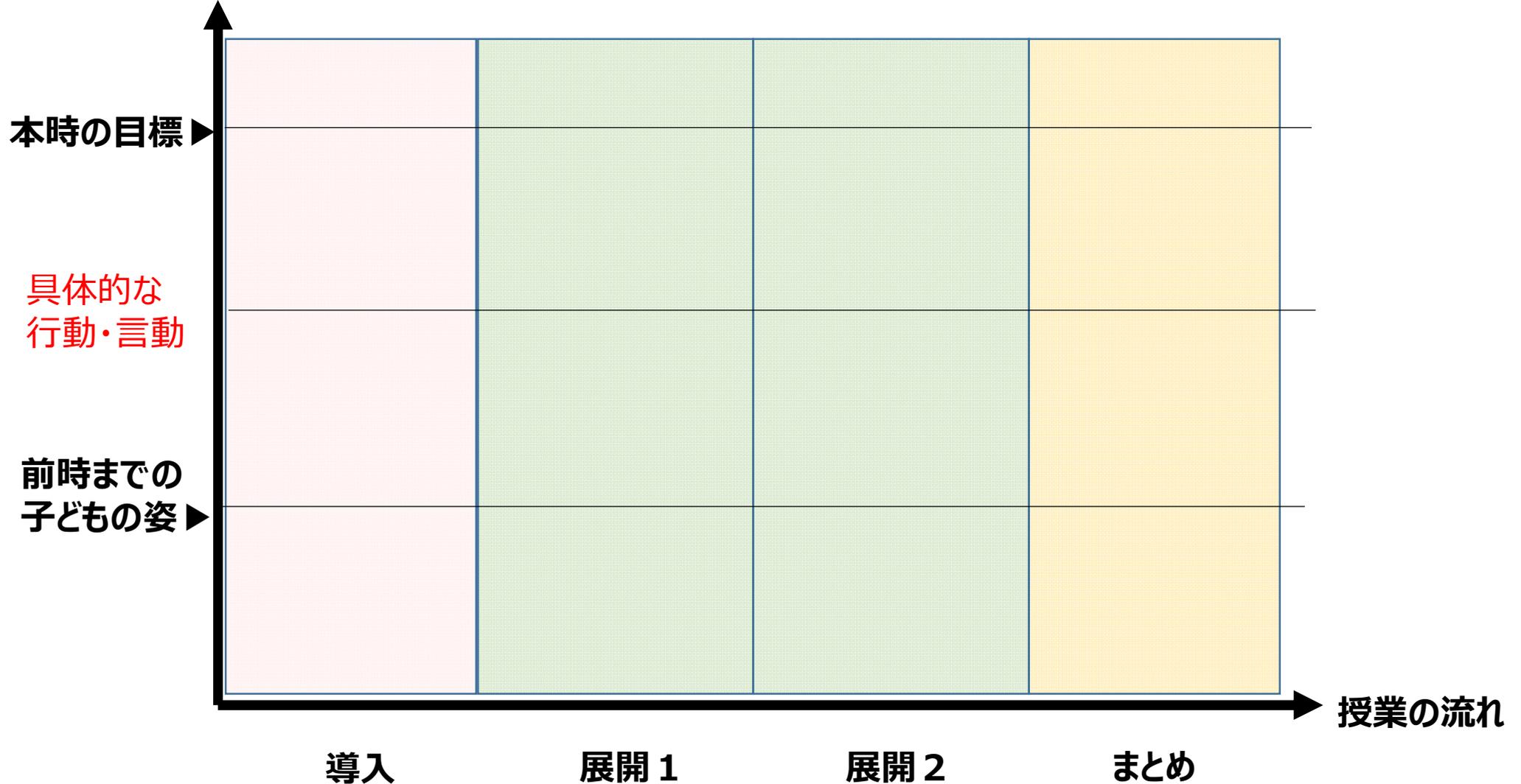


「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

効果的に授業改善を進めるために

資質・能力
評価規準

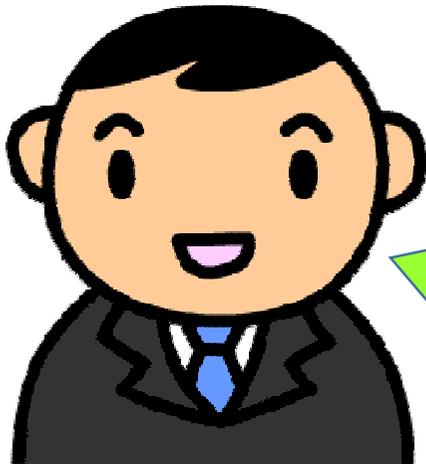
授業改善のための方略について考える



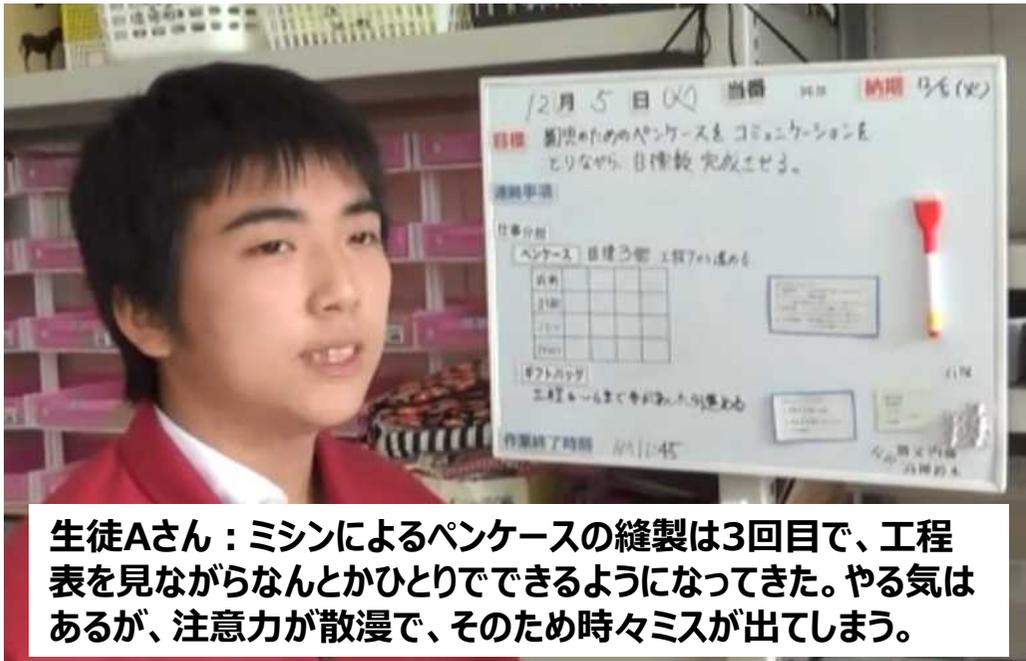
【領域・教科】 高等部 作業学習（布工房）

単元名

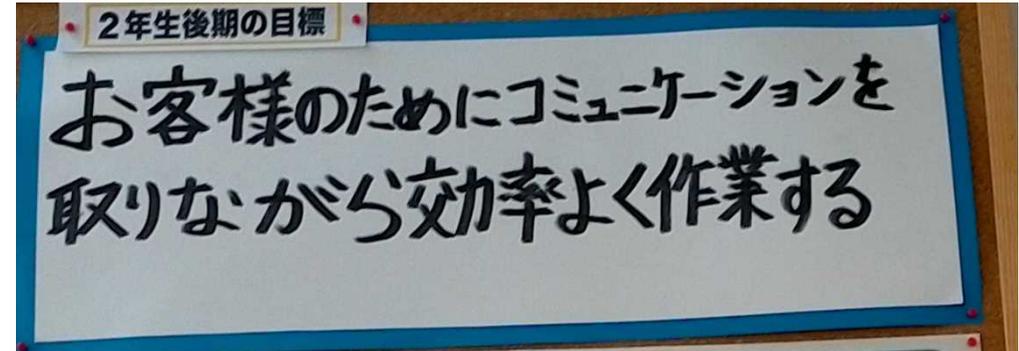
「園児のためのペンケース」と
「洋菓子店のギフトバッグ」の製作
～他学年・地域とつながる～



高等部の作業学習の
授業を例に体験して
みましょう



生徒Aさん：ミシンによるペンケースの縫製は3回目、工程表を見ながらなんとかひとりでできるようになってきた。やる気はあるが、注意力が散漫で、そのため時々ミスが出てしまう。

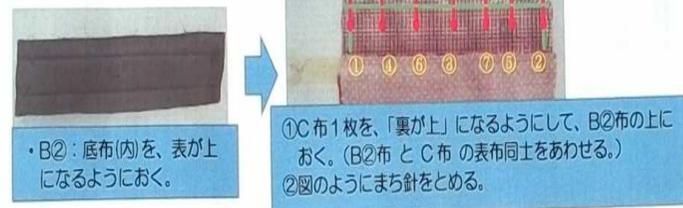


幼稚園から依頼された園児のペンケース

2021年11月20日(月)	前日就寝時間 22:00	起床時間 5:50
本日の目標	1 (書く基本姿勢) 大きな声で声かけコミュニケーションをとる 2 (作業姿勢、生産性) 効率よく作業を進める	
作業内容	ミシン	
③ 本日の反省	【働くために必要な力】	
1 【身だしなみ】	自分で整えられたか。	(清潔、正しい態度) ○
2 【準備・片付け】	自分で必要なものをそろえられたか。	○
3 【あいさつ・返事】	【あいさつ】自分からできたか。	(笑顔)(聞こえる声)
4 【聞き方・積極性】	【聞き方】分かった時は返事できたか。	(元氣)(聞こえる声)
5 【積極性】	【積極性】自分から進んで行えたか。	○
6 【安全性】	【安全性】一人で縫製作業中、周囲に注意し、安全にできたか。	○
7 【正確性】	【正確性】指示を守り、そのおりにできたか。	(ゆりかたを責めない)
8 【報告・連絡・相談】	【報告・連絡・相談】「質問・ついで」を聞いていたか。	(一です、一まず)
9 【持続力】	【持続力】縫製作業中、最後まで集中して作業できたか。	○
10 【協調性(生産性)】	【協調性(生産性)】仲間とコミュニケーションをとりながら作業できたか。	○
11 【責任感(生産性)】	【責任感(生産性)】自分の力で作業を進めたか。	○
目標に対する反省	① 大きな声で声かけコミュニケーションをとることができました。相手の声を見て伝えられたように思います。② 効率よく作業を進めることができました。	
指導者より	とてもよくマイナーなところまで縫製してくれました。作業姿勢もよく進んでくれて助かりました。	
家庭より	作業日誌	
次回の目標	②自分から進んで作業を進める	

【工程7 内布底ぬい (C布+B2布)】

① セット



② ぬい合わせ(線の上×2か所)



③ 開きアイロン



工程表



洋菓子店のギフトバッグ



①作業前のミーティング：全体で役割分担や作業の注意事項（困った時はリーダーや教師に相談する。丁寧にミスなく作業をする）を確認。メモを取る様子。



②作業準備：慎重に自分の仕事の内容を教師に確認。教師はミシンを扱う際の注意点を本人に述べさせる。生徒Aは作業日誌を見ながら「線からずれないように縫う(ズレは2mm以内)」とこたえる。



③作業：ゆっくりと慎重にミシンを動かす。本人は決められた工程を一人で取組む。前日と比較し自分で進められるようになっていく。順調に1枚を縫い終わる。2枚目も完成しここまで順調・・・



④作業（検品）：できたところでリーダーに「確認をお願いします」と検品を依頼する。リーダーは縫い目が波打っていることを指摘。本人は指摘されて気付く様子。一緒に教師に判断を求める。



⑤作業の確認:手順表に沿って縫い方を一つ一つ確認する。【教師との対話】目線が指先にのみ集中し、視野が狭くなっている。縫うスピードも不安定。目印の線が見にくい?姿勢は?



⑥作業再開 :縫うための線を引き直す。手先だけでなく線全体を意識しながら取り組み始める。別の教師が後ろで様子を確認。実際に作業を始めると姿勢が崩れてしまう。



⑦作業中断 :改めて作業のポイントの確認。【教師との対話】「ゆっくりでもいいので顔をミシンから離して」「布がたるまないように人差し指や親指のを添える位置を確認」徐々に作業が安定する



⑧まとめ :何とか3枚完成させることができた。目標の5枚は達成できず。「全体を見ながらミシンをかけ、きれいに縫えるようにしたい」「次は目標の5枚を目指したい」と報告する

授業改善のための方略について考える 例) ミシンを使った縫製作業

①行動や発言(事実)を記録

気になる行動・言動を黄色の付箋紙に書いて貼る

資質・能力
評価規準

②行動や発言を促した支援を分析(例:授業づくりの4つの視点)

授業づくりの4つの視点で、効果があったことを書いて貼る → 改善点を書き貼る
※問い:赤 材料:青 対話:緑 成果:黄

本時の目標▶

A君:ミシンを正しく扱って正確に作業するためのポイントを考え、意識しながら取り組む

具体的な
行動・言動

前時までの
子どもの姿▶

A君:新しく任されたミシンの操作に不安があり、作業が進まない。教師に同じ質問を何度も繰り返す。

授業の流れ

導入

展開 1

展開 2

まとめ

授業改善のための方略について考える 例) ミシンを使った縫製作業

① 行動や発言(事実)を記録

気になる行動・言動を黄色の付箋紙に書いて貼る

資質・能力
評価規準

② 行動や発言を促した支援を分析(例: 授業づくりの4つの視点)

授業づくりの4つの視点で、効果があったことを書いて貼る → 改善点を書き貼る
※ 問い: 赤 材料: 青 対話: 緑 成果: 黄

本時の目標
A君: ミシンを正しく扱い正確に作業するためのポイントを考え、意識しながら取り組む

具体的な
行動・言動

前時までの
子どもの姿
A君: 新しく任されたミシンの操作に不安があり、作業が進まない。教師に同じ質問を何度も繰り返す。



導入

展開 1

展開 2

まとめ

授業の流れ

「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

授業改善のための方略

授業づくりの視点の整理①

・自校の児童生徒の実態を踏まえ、AL、
エクセレントの具体例を考え作成する

知的に障害が重い子
の場合は？

センター 授業設計の視点

① 解決したい
課題や問い

② 考えるための
材料

③ 対話と思考

④ 学習の成果



自校の児童生徒の実態を踏まえて エクセレント：こんな支援をしたい！！

① 児童・生徒が自ら働きかけたいと思える活動の設定（自立）

② 注視したり、耳を傾けたり、表情、声、体の動きによる意思の表出を引き出す教材・教具。（自立）

③ 互いを意識し、働きかけ合いながら共に活動する場の設定。（自立）

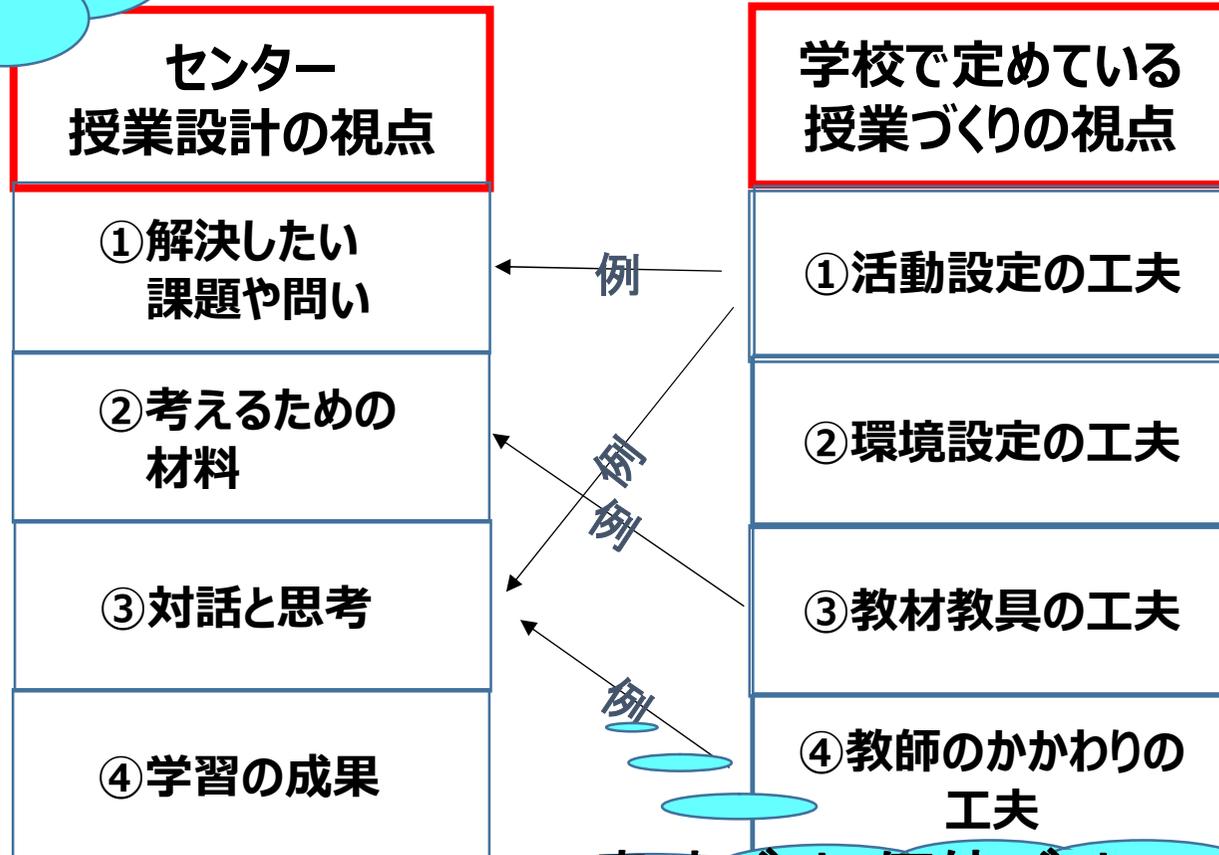
④ 今日「○○をやった」「またやりたい」と感じられる振り返りと次の活動への見通し、期待感（自立）

「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善につなげるための

授業改善のための方略

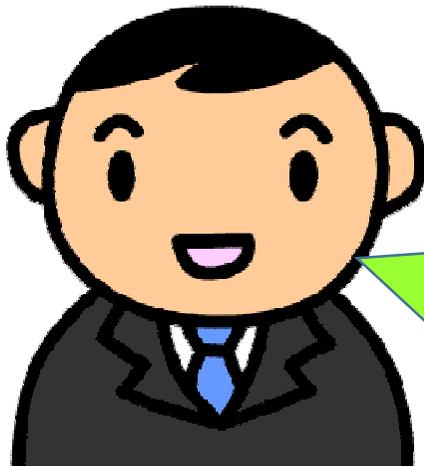
授業づくりの視点の整理②

子どもの学び
学びの過程



意味づけ・価値づけ
をすると...

自校のカリキュラムの現状分析

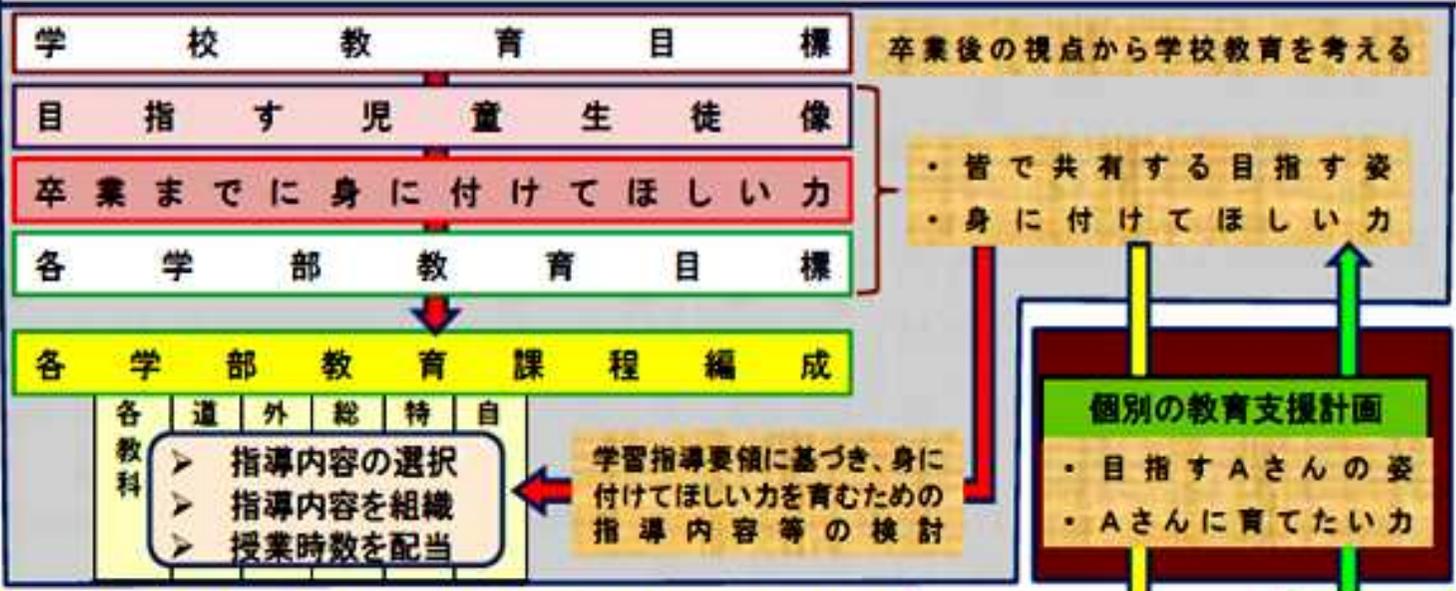


研修課の立場から
学校のカリキュラム
の課題を洗い出して
みましょう

教育課程の総体的構造の可視化 (例)

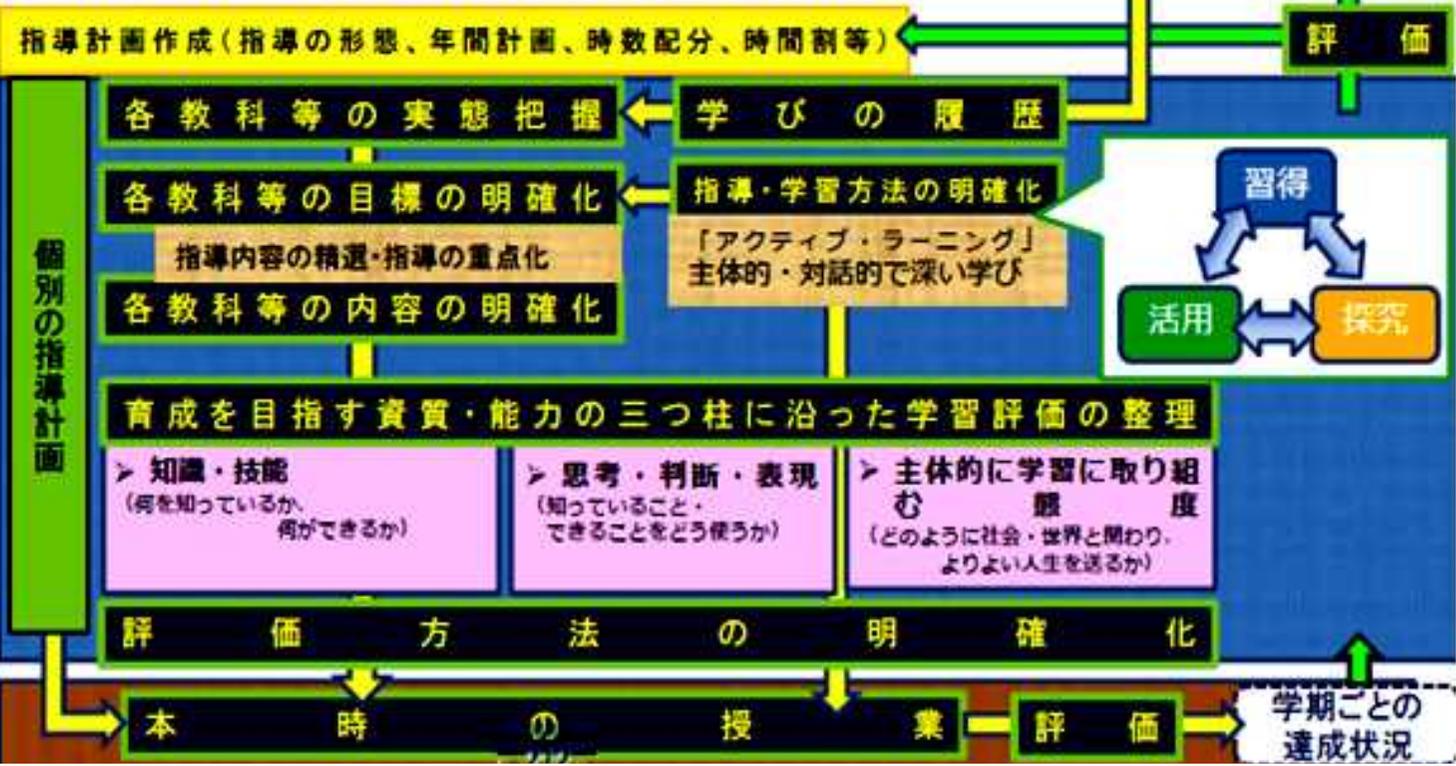
学習指導要領から教育内容を明確にする段階

- ◆「カリキュラム・マネジメント」
- ◆「社会に関われた教育課程」
- ◆育成を目指す資質・能力
- ◆教育課程の円滑な接続

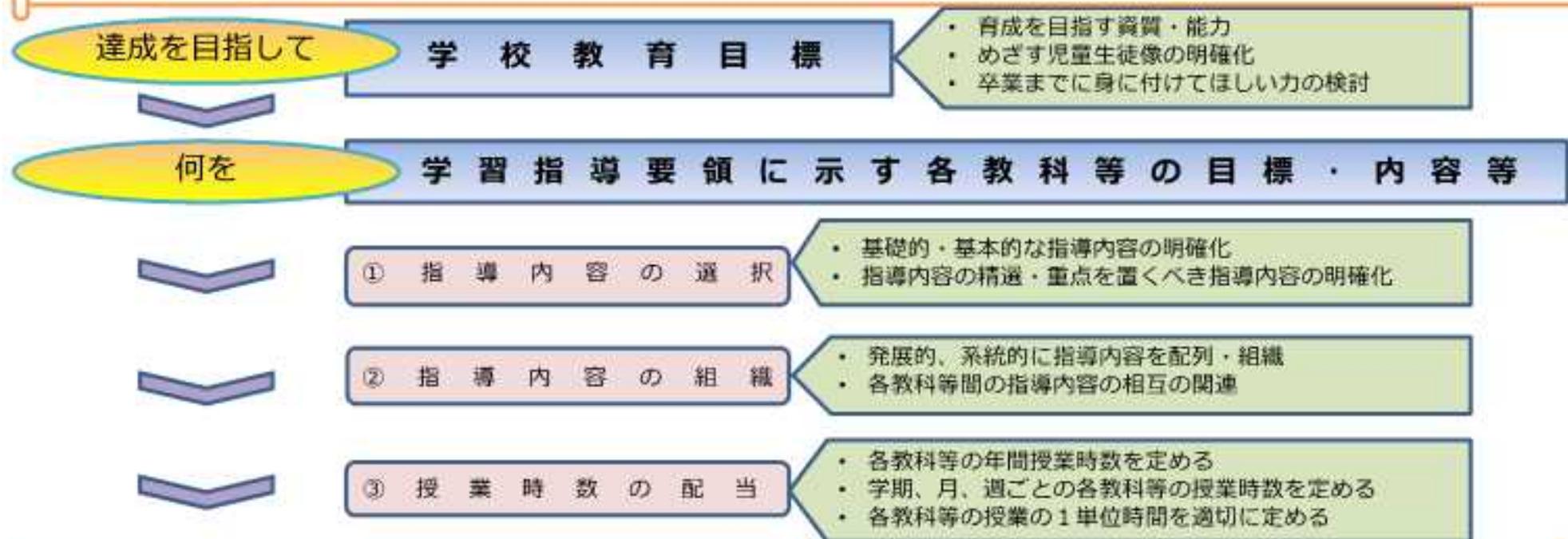


指導計画を作成する段階

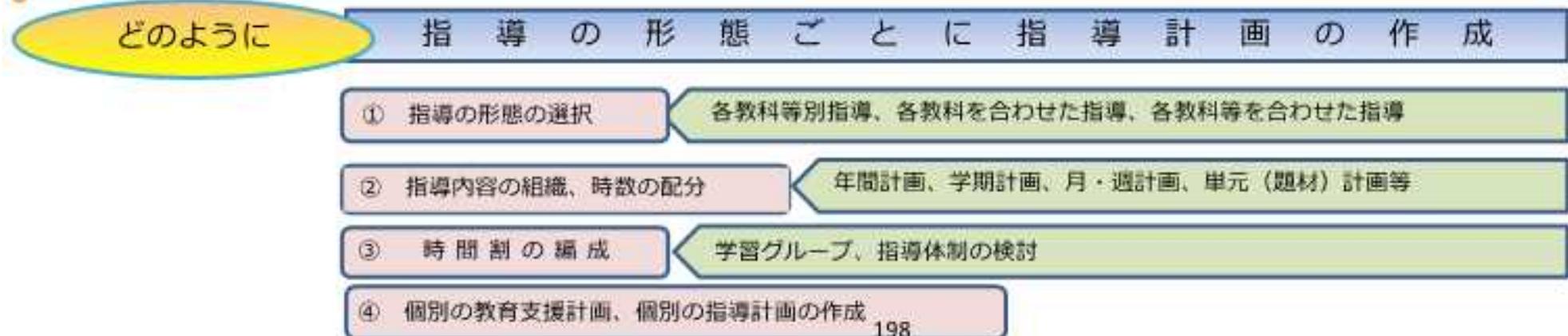
- ◆学びの連続性
- ◆「アクティブ・ラーニング」の視点



学習指導要領を踏まえて「教育内容」を明確にする段階（核となるカリキュラムの明確化）



教育内容等を踏まえて「指導計画」を作成する段階（実施するカリキュラムの作成）



【ワークシート】

カリキュラム全体から見る自校の現状分析

何ができるようになるか

4:あてはまる—3:ややあてはまる—2:あまりあてはまらない—1:あてはまらない

学習指導要領から教育内容を明確にする段階	◆「カリキュラム・マネジメント」
	◆「社会に関わられた教育課程」
	◆育成を目指す資質・能力
	◆教育課程の円滑な接続
指導計画を作成する段階	◆学びの連続性
	◆「アクティブ・ラーニング」の視点

①研修で児童・生徒たちの目指す姿を、資質・能力の3観点で整理した 4-3-2-1

何を学ぶか

②地域とつながりながら教育活動が展開され、効果が見られた 4-3-2-1

③学部の児童・生徒たちの育成をめざす資質・能力は充分向上した 4-3-2-1

④学部の指導内容は、資質能力向上のために発展的、系統的に配列・組織されている 4-3-2-1

どのように学ぶか

⑤指導の形態(教科、合わせた指導、自立活動)は資質能力の向上のために適切に選択されている 4-3-2-1

⑥指導内容の組織(年間計画、単元計画)、時数は、資質能力の向上のために適切に配分されている 4-3-2-1

⑦個別の指導計画は3観点で整理されている 4-3-2-1

⑧「主体的で対話的・深い学び」の視点からの授業改善は充分進んだ 4-3-2-1

何が身に付いたか

⑨目ざす資質能力の3つの観点に沿って、適切に学習評価を実施した 4-3-2-1

【ワークシート】

学校名 _____ 名前 _____

研修課として取り組むカリキュラム・マネジメント

実践キーワード

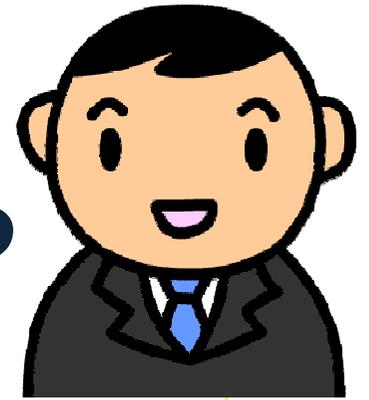
目標



方略①（具体的な取組）

方略②（具体的な取組）

研修課にとっての カリキュラム・マネジメントとは？



研修の推進

◆ ALの視点からの授業の改善

障害や発達段階に応じた

- ① 目指す「資質・能力」
- ② 「主体的、対話的で深い学び」

→授業づくりの視点

例) 解決したい課題や問い 考えるための材料 対話と思考 学習の成果

- ③ 効果的な学習、指導、評価の方法



まとめ（1）



カリキュラムマネジメント

学校教育目標の実現に向けた

教育課程の編成・実施・評価・改善の営み

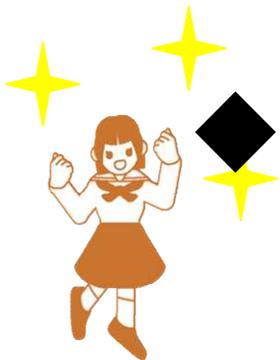
ポイント

◆社会に開かれた教育課程

内容 人的・物的資源の活用

◆資質・能力は学校全体で育成

ALの視点からの授業 教科横断 全ての教職員



まとめ（2）



研修課としてのポイント

◆ ALの視点からの授業の充実

障害や発達段階に応じた

- ・ 目指す「資質・能力」

- ・ 「主体的、対話的で深い学び」

→授業づくりの視点 例)解決したい課題や問い 考えるための材料 対話と思考 学習の成果

- ・ 効果的な学習方法、指導・支援方法

◆ 学校全体の研修のつながり



- ◆ ALの視点からの授業改善を学校全体へ

- ・ 学びの連続性（幼稚部、小学部、中学部、高等部）